

事業概要シート

資料3

No	3-2	総合計画	分野	Ⅲ生活環境 安全・安心・快適に暮らせる自然豊かなまち
			政策	Ⅲ-1 環境低負荷型都市の建設

事務事業名	清水ごみ受付センター事業	局・部	環境局 廃棄物対策部
		課	廃棄物処理課
		氏名	青木貴春

事業の全体概要	事業の目的	清水区民の不燃・粗大ごみ等の直接搬入場所を確保し、生活環境を保全する。		
	背景 (実施の経緯)	平成22年3月末の清水清掃工場の閉鎖に伴う地元要望を受け、同清掃工場内の敷地を利用し、清水区民の不燃・粗大ごみ等の受け入れ場所として整備した。		
	事業(施設) 内容・実施方法	市民が直接搬入する不燃・粗大ごみ、資源ごみの受け入れを行い、不燃ごみ・粗大ごみは処理を行うため、沼上清掃工場に運搬する。また、リサイクル対象の資源ごみ(ビン、カン、ペットボトル、古紙、古布等)や金属については、業者を通じて再資源化する。 平成23年度 搬入量 930.19ト 平成24年度 搬入量 949.50ト 平成25年度予算の主なもの ・不燃物・粗大ごみ運搬業務 22,050千円		
	根拠法令 ・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業開始年度	H22 年度	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()
	委託 の 状況	委託内容		
		委託先	<input type="checkbox"/> 民間企業 <input type="checkbox"/> 外郭団体等 <input type="checkbox"/> 市民活動団体等 <input type="checkbox"/> その他(市民)	

項 目		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
歳入	当初予算額(千円)	7,338	4,937	7,340	
	決算額(千円)	7,081	6,142	-	
歳出(事業費)	当初予算額(千円)	48,838	43,638 (A)	39,273	
	決算額(千円)	(A) 40,777 (A)	37,511	(1 H25の財源は予算外)	
	(A) 主な事業費	委託料	33,451	32,434	31,688
		修繕料等	2,539	591	1,970
		その他	4,787	4,486	5,615
	(A) 財源内訳	国・県支出金			
		地方債			
		その他	7,081	6,142	7,340
		一般財源	33,696	31,369	31,933
	人件費	正規職員(人)	7	6	5
正規職員(千円) (B)		56,000	48,000	40,000	
非常勤職員(人)		5	6	7	
非常勤職員(千円) (C)		15,000	18,000	21,000	
総事業費(A)+(B)+(C) (千円)		111,777	103,511	100,273	

予 算	会計区分	1	一般会計	款	4	衛生費	項	5	清掃費	目	7	清水ごみ受付センター費
	事業番号		13471	大	10	ごみ受付センター費	中	10	ごみ受付センター運営経費	小	10	ごみ受付センター運営経費

事業実績	活動指標・実績	指標 1	保守点検の回数				
		設定内容	清水ごみ受付センターの維持管理				
			H 2 1 年 度	H 2 2 年 度	H 2 3 年 度	H 2 4 年 度	H 2 5 年 度 (目標)
		(回)			1	1	1
	活動指標・実績	指標 2					
		設定内容					
			H 2 1 年 度	H 2 2 年 度	H 2 3 年 度	H 2 4 年 度	H 2 5 年 度 (目標)
		()					
	成果指標・実績	指標	安定稼働 (稼働日数)				
		設定内容	清水ごみ受付センターの安定した廃棄物処理業務				
			H 2 1 年 度	H 2 2 年 度	H 2 3 年 度	H 2 4 年 度	H 2 5 年 度 (目標)
		(日)			311	309	310

比較参考値 (類似施設・類似事業等)	【政令指定都市の状況】			
	札幌市	データなし	京都市	データなし
	仙台市	"	大阪市	"
	さいたま市	"	堺市	"
	千葉市	"	神戸市	"
	川崎市	"	岡山市	"
	横浜市	"	広島市	"
	相模原市	"	北九州市	"
	新潟市	"	福岡市	"
	浜松市	"	熊本市	"
	名古屋市	"		
	【国・県等の導入状況】			
データなし				
【民間等の導入状況】				
データなし				

関連類似事業	なし
--------	----

その他特記事項	
---------	--

添付資料	19 添付資料 清水ごみ受付センター H24年報 20 添付資料 清水ごみ受付センター 清水ごみ受付センターの家庭ごみ受入れに係る経緯
------	--

1次評価結果(所管課)		
評価理由	A	処理計画に基づき、安定的な運転が実施された。
今後の取組内容等	清水ごみ受付センターのより効率的な運営を図る為、運営方針の策定を行う。	

2次評価結果(内部評価委員会)	
事業評価(総括)	清水清掃工場の廃止に伴い、地域住民の要望により開始した事業であるが、当施設の利用者が限定されており、戸別収集(不燃ごみ・粗大ごみ)との連携により効率的な事業運営が可能と思われる。特に、施設開設日数や民間委託化などによるコスト縮減について検討すること。

静岡市事務事業市民評価会議 評価結果			
評価結果		票数	評価結果(総括)
廃止	廃止(民間含む)	4	効果の度合いを図ることは難しいが、費用対効果や一部住民の利益であることなどを踏まえ廃止とした。廃止することで、市全体の利益となることもあると思われる。
	縮小	1	
	再構築		
	現行継続		
	拡大		
評価委員の意見	<p>【廃止】非効率で公益性の説明が十分なされていない事業運営について、やや危機感に乏しい感じを受けたため、廃止の評価とする。</p> <p>【廃止】サービスとしてはあったほうが良いが、総合的に費用対効果という面で廃止としたほうが良い。</p> <p>【廃止】市東部の方については、沼上や西ヶ谷までごみを持っていくということになると確かに地理的に見ても遠いが、日常のごみ収集も実施していることもある為、ごく一部の住民の利便性だけとなると公共性に欠けると考える。</p> <p>【廃止】年間を通じて1億円の経費をかけて行うべきものではなく、市東部へのデメリットについては、ごみが多く出る5月、12月等に回収トラックを増やすなど対策を練るようにしていただきたい。</p> <p>【縮小】利用者があることなどを踏まえ、今すぐ廃止できないと思うが、1億円の経費はかけすぎであり、当面は委託や稼働日の縮小によるコスト縮減に努めていただき、長期的には廃止も視野に入れ、早く地元との協議を進めていただきたい。</p>		

評価結果(1次評価、2次評価、市民評価会議)を踏まえた市の方向性案	
方向性案	方向性案の理由
縮小	市民評価会議における廃止評価を重く受け止め、その上で、利用実態の精査、費用対効果、他の清掃施設への影響及び清掃施設周辺住民の生活環境への影響などを十分考慮する必要があります。利用実態の動向を踏まえ、清掃施設周辺住民の皆さんをはじめ、市民の皆さんの意見等を把握した上で、市域内の清掃施設の適正配置を含めた今後の方向性を慎重に協議・検討していきたいと考えております。このことから、当面は委託化や稼働日の縮小による更なるコスト縮減をすることが第一であると考え、縮小としました。
方向性案の具体策・手法	<p>【事業の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水ごみ受付センター利用者の地区別調査を実施。 ・関係者や利用者などの意見・提案を採り入れるため、アンケート調査を実施。(協議結果やアンケート結果を踏まえ、稼働日数の見直しを検討する。) ・平成26年度より委託化によるコストの縮減。 ・平成26年度より不燃物・粗大ごみ運搬業務の直営化によるコストの縮減。 ・同施設をめぐる行政課題への対応。(収集体制への影響、災害時仮置場の確保等)